

別添

## 再意見提出

再意見提出者	広島テレビ放送株式会社
--------	-------------

意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望（2015 年ごろや 2020 年ごろのワイヤレスブロードバンドのサービスイメージ、システムイメージなど）	
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題（周波数の確保、国際標準化・研究開発の推進、利用環境の整備）	
(3) 関連する国内外の動向と課題	
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	<p>○放送事業者は番組制作や報道中継、それに素材伝送を行う際に受信基地が見通せる長距離伝送や都市部ではマイクロ波のF P Uを使い、受信基地局への伝送が困難な山間地などからはSNGで衛星を利用した伝送を行っている。また、ビルの影など遮蔽物によって回線が中断される恐れのある場合や移動中継の際には8 0 0 M H z 帯F P Uを活用するなど、それぞれの周波数帯の伝播特性を活かした効果的な活用を図っている。</p> <p>○当社のような8 0 0 M H z 帯F P Uの活用例で言えば、マラソン等のロードレース中継以外に、台風災害時、被災地一帯を移動しながら刻々と被害状況を伝える一方、住民への安全確保や危険回避のための情報を生中継によって周知させた。</p>

	<p>その際、点在する災害現場と受信基地との間は、ビル等の遮蔽物が多く、通常のF P U装置による伝送は、不可能である。これに対して8 0 0MH z 帯F P Uを使用すると、その伝播特性である反射や回折によって中継は可能になった。</p> <p>当社において過去に威力を発揮した例としては、地下鉄サリン事件に係わったオウム真理教の幹部が、広島刑務所から広島空港に移送される際、8 0 0MH z 帯 FPU搭載の移動中継車を移送車に併走させ、生中継で全国放送することができた。条件の悪いトンネル内や樹木に覆われた山道を含め、広範囲、かつ長時間にわたる中継を可能にしたのは、8 0 0MH z 帯F P Uの力を最大限利用した成果だと確信している。</p> <p>災害や事件報道以外でも海上で水上スキーに挑戦する猿の船上中継や、花見客で混雑する桜並木からの中継、さらに買い物客で混雑するデパート開店時の様子も移動カメラに無指向性アンテナを取り付けて伝送するなど、優れた伝播特性を持つ8 0 0MH z 帯F P Uにさらに工夫を凝らした番組制作も行った。</p> <p>○現行の8 0 0MH z 帯 FPU は伝送容量が 16.2Mbps とSDTV の画質伝送が主で HDTV 画質の伝送は困難であるが、低遅延・高画質の HDTV 伝送を行う技術開発もされており、今後、運用に向けた制度整備が更に進めば利用頻度も高まり、周波数の有効活用も更に図れるものとする。</p> <p>○生中継をベースにしたテレビ報道や番組の重要度は、今後もますます高まってゆくものと思われる。</p> <p>地域の基幹放送局として安全と安心を求める国民の期待や知る権利に十分に応えてゆくためにも、8 0 0MH z 帯F P Uは、大いなる力となり、必要不可欠であるとする。</p>
--	--

--	--

意見募集において寄せられた意見に対する意見

No	意見提出者	寄せられた意見に対する意見内容